

平成21年3月期第2四半期決算説明会資料
平成20年11月17日



Best Synergy & Best Solution

	ページ
I. 平成21年3月期第2四半期決算の概要	1
I-1. 第2四半期決算の状況	2
I-2. セグメント別営業収益	3
I-3. セグメント別営業利益	4
I-4. 財政状態	5
I-5. キャッシュ・フローの状況	6
II. 平成21年3月期見通し	7
II-1. 業績の通期見通し	8
II-2. セグメント別営業収益・営業利益の通期見通し	9
II-3. セグメント別設備投資額・減価償却費の通期見通し	10
II-4. 主な設備投資案件	11
III. 中期経営計画の推進	12
III-1. 中期経営計画「経営戦略2010」	13
III-2. 中期経営計画策定後の主な取り組み (1/2)	14
III-2. 中期経営計画策定後の主な取り組み (2/2)	15
III-3. 平成21年3月期第2四半期における取り組み (1/2)	16
III-3. 平成21年3月期第2四半期における取り組み (2/2)	17
III-4. 今後の重要プロジェクト	18

【補足資料】	ページ
①保管用倉庫面積・保管残高	19
②トランクルーム期末保管残高	20
③港湾運送取扱量	21
④国際輸送取扱量	22
⑤賃貸ビル面積	23

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照下さい。本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

I .平成21年3月期第2四半期決算の概要

I-1. 第2四半期決算の状況

単位:百万円

決算期	平成20年3月期 第2四半期		平成21年3月期 第2四半期		増 減	
	金 額	収益比	金 額	収益比	金 額	比 率
営業収益	68,050	100.0%	69,542	100.0%	1,491	2.2%
営業利益	4,123	6.1%	3,864	5.6%	▲259	▲6.3%
経常利益	4,665	6.9%	4,344	6.2%	▲320	▲6.9%
四半期純利益	2,671	3.9%	2,292	3.3%	▲378	▲14.2%
1株当たり四半期 純利益 (円)	13.74	—	12.23	—	—	—

営業収益	物流事業で港湾運送収入が大幅に増加したほか、倉庫、陸上運送ほかも増収
営業利益	不動産事業が増益になったものの、物流事業で新規施設稼働に伴う費用負担が大きく減益
経常利益	支払利息などが増加
四半期純利益	前年同期は投資有価証券売却益などがあったため減少

I-2. セグメント別営業収益

単位: 百万円

区 分	平成20年3月期第2四半期	平成21年3月期第2四半期	増 減	
1. 物流事業	63,087	64,459	1,372	2.2%
①倉庫収入	9,463	9,771	307	3.3%
②港湾運送収入	18,469	19,563	1,094	5.9%
③国際輸送収入	15,944	15,707	▲236	▲1.5%
④陸上運送ほか収入	19,209	19,416	206	1.1%
2. 不動産事業	5,157	5,181	23	0.5%
⑤不動産事業収入	5,157	5,181	23	0.5%
計	68,245	69,640	1,395	2.0%
消去又は全社	▲194	▲98	96	49.4%
営業収益	68,050	69,542	1,491	2.2%

①倉庫収入	昨年稼働した浦安、南本牧、羽生トランクルーム第3期倉庫のフル稼働と、本年6月の大阪 南港東倉庫の新規稼働などにより、増収
②港湾運送収入	コンテナ荷捌業務が中国、中近東向け輸出を中心に好調であったことに加え、中国航路の新規取扱があり、増収
③国際輸送収入	航空貨物の取扱は堅調に推移したものの、プロジェクト貨物の取扱が低調、一部の海外子会社が不調であったため、減収
④陸上運送ほか収入	遠州トラックの増収や浦安倉庫のフル稼働などにより、増収
⑤不動産事業収入	一部既存ビルの賃料改定や新施設の稼働があり、若干の増収

I-3. セグメント別営業利益

単位:百万円

区 分	平成20年3月期 第2四半期	平成21年3月期 第2四半期	増	減
1. 物流事業	3,190	2,955	▲234	▲7.4%
2. 不動産事業	2,843	3,071	228	8.0%
計	6,034	6,027	▲6	▲0.1%
消去又は全社	▲1,911	▲2,163	▲252	▲13.2%
営業利益	4,123	3,864	▲259	▲6.3%

物流事業	<p>新規施設の稼働や、既存拠点の採算改善もあったが、減価償却費、租税公課の増、移管費用等の負担が大きく、減益</p> <p>遠州トラックグループも燃油費をはじめとする経費の増加もあり、減益</p>
不動産事業	<p>賃料改定や新規物件の稼働に加え、減価償却費等の間接費用の減少により、増益</p>

単位:百万円

区 分	平成20年3月期末	平成21年3月期 第2四半期末	増 減 額
総 資 産	240,392	240,750	358
負 債	115,679	120,066	4,386
純 資 産	124,712	120,683	▲4,028
(うち少数株主持分)	(4,217)	(4,260)	(42)
自己資本比率	50.1%	48.3%	-
1株当たり純資産	629.78円	627.39円	▲2.39円

総 資 産	投資有価証券が時価下落などにより減少したが、新規施設の取得による有形固定資産の増などにより増加
負 債	投資有価証券の時価下落に伴い繰延税金負債が減少したが、長期借入金の増により増加
純 資 産	利益剰余金などが増加したが、自己株式の取得や、その他有価証券評価差額金の減などにより減少

I-5. キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

区 分	平成20年3月期 第2四半期	平成21年3月期 第2四半期	増 減 額
営業活動によるCF	3,610	5,032	1,422
投資活動によるCF	▲6,630	▲6,193	437
財務活動によるCF	867	3,081	2,214
現金及び現金同等物四半期末残高	12,287	13,480	1,192

営業活動によるCF	税金等調整前四半期純利益や減価償却による内部留保などにより増加
投資活動によるCF	投資有価証券の売却による収入はなかったが、投資有価証券の取得や、設備投資に伴う支出の減により、支出額は減少
財務活動によるCF	自己株式の取得に伴う支出が増えたものの、長期借入の増などにより増加

Ⅱ.平成21年3月期見通し

II-1. 業績の通期見通し

単位:百万円

決算期	平成20年3月期実績		平成21年3月期見通し		増 減	
	金 額	収益比	金 額	収益比	金 額	比 率
営業収益	137,732	100.0%	138,000	100.0%	267	0.2%
営業利益	8,457	6.1%	8,000	5.8%	▲457	▲5.4%
経常利益	9,194	6.7%	8,300	6.0%	▲894	▲9.7%
当期純利益	5,230	3.8%	4,500	3.3%	▲730	▲14.0%
1株当たり当期純利益 (円)	27.02	-	24.07	-	-	-

営業収益	上期業績は順調に推移しており、实体经济の減速懸念はあるものの、通期予想を据え置き。円高による海外子会社の収益目減りを加味
営業利益	下期には新規施設の初期費用など経費の減少を見込み、上期対比増益を予想
経常利益	支払利息の増加や寄付金を予定

営業収益

単位：百万円

区 分	平成20年3月期 実績	平成21年3月期 見通し	増 減	
			増	減
1. 物流事業	127,778	127,900	121	0.1%
2. 不動産事業	10,341	10,350	8	0.1%
計	138,119	138,250	130	0.1%
消去又は全社	▲387	▲250	137	35.5%
営業収益	137,732	138,000	267	0.2%

営業利益

単位：百万円

区 分	平成20年3月期 実績	平成21年3月期 見通し	増 減	
			増	減
1. 物流事業	6,540	6,250	▲290	▲4.4%
2. 不動産事業	5,708	6,050	341	6.0%
計	12,249	12,300	50	0.4%
消去又は全社	▲3,791	▲4,300	▲508	▲13.4%
営業利益	8,457	8,000	▲457	▲5.4%

II-3. セグメント別設備投資額・減価償却費の通期見通し

設備投資額

単位:百万円

区 分	平成20年3月期 実績	平成21年3月期 見通し	平成21年3月期	増 減
			第2四半期実績	
1. 物流事業	11,949	7,600	3,727	▲4,349
2. 不動産事業	675	3,500	419	2,824
計	12,625	11,100	4,146	▲1,525
3. 全社	534	400	97	▲134
連 結	13,159	11,500	4,244	▲1,659

減価償却費

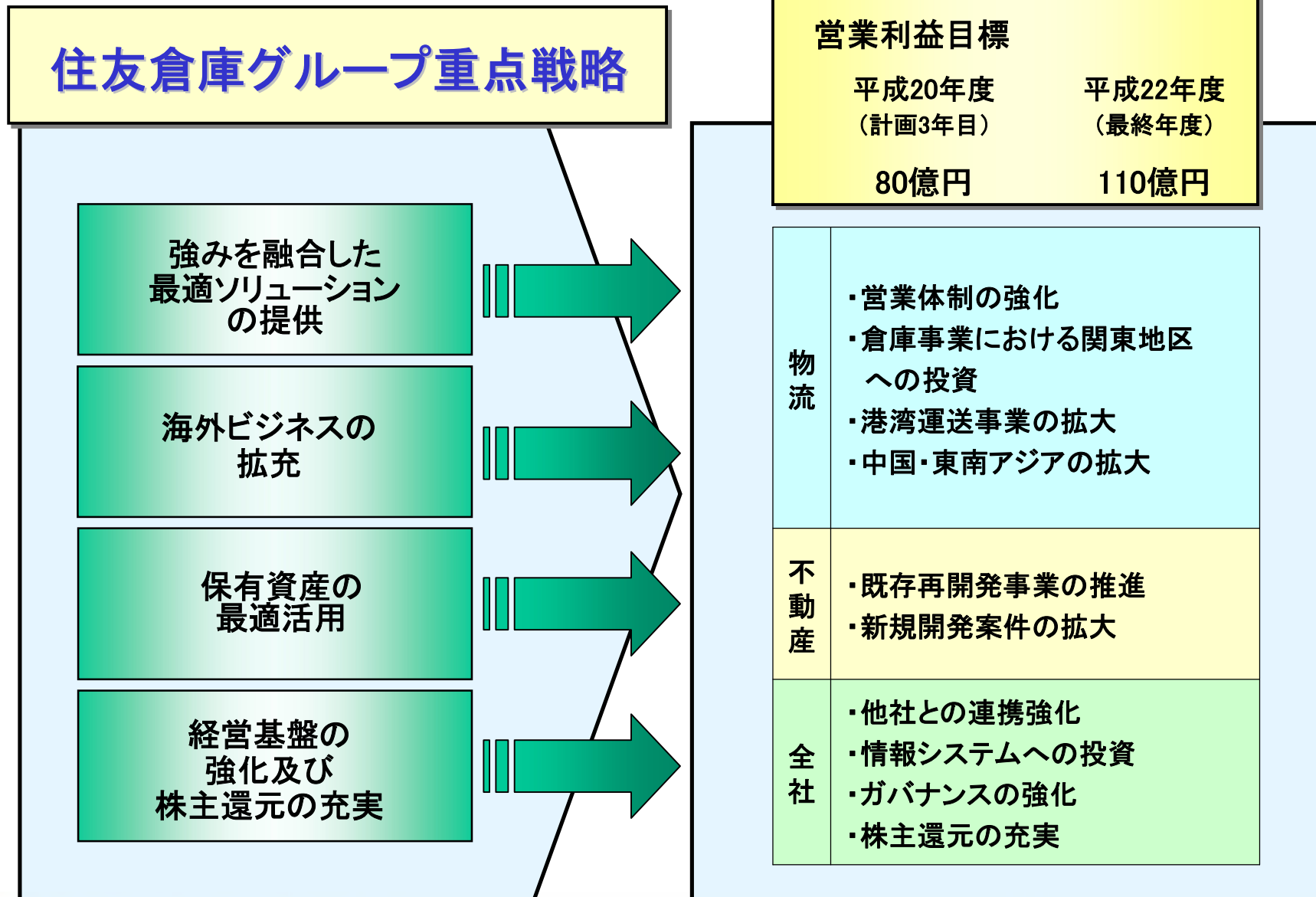
単位:百万円

区 分	平成20年3月期 実績	平成21年3月期 見通し	平成21年3月期	増 減	
			第2四半期実績	絶対値	割合
1. 物流事業	3,440	4,300	2,034	859	25.0%
2. 不動産事業	2,103	1,970	980	▲133	▲6.3%
計	5,543	6,270	3,014	726	13.1%
3. 全社	164	290	106	125	76.0%
連 結	5,708	6,560	3,121	851	14.9%

II-4. 主な設備投資案件

区 分		平成21年3月期 第2四半期	平成21年3月期 (通期見通し)
物流事業	南港東倉庫建設工事（大阪市住之江区） 工 期：平成19年3月～平成20年5月 設備投資額：77億円 構造・面積：（物流センター）鉄筋コンクリート造3階建、 延床面積47,769㎡（14,450坪） （併設倉庫）鉄筋コンクリート造4階建、 延床面積16,638㎡（5,033坪） *「CASBEE-大阪」でAランク取得 *太陽光発電システムを設置（発電容量300kwと物流施設としては国内最大規模）	23億円	23億円
	（仮称）羽生アーカイブセンター建設工事（埼玉県羽生市） 工 期：平成21年2月～平成22年1月 設備投資額：44億円 構造・面積：鉄筋コンクリート造4階建、延床面積24,700㎡（7,472坪）	1億円	20億円
不動産事業	北浜借地権付建物購入（大阪府中央区） 時 期：平成21年1月 設備投資額：31億円	-	24億円
	ツインビル東館西館防災設備更新（東京都中央区） 工 期：平成20年9月～平成21年10月 設備投資額：7億円	2億円	4億円
	キャナルテラス堀江建設工事（大阪市西区） 工 期：平成19年8月～平成21年1月 設備投資額：4億円 構造・面積：鉄骨造2階建、延床面積1,664㎡（503坪）	2億円	2億円
全社	次期情報システム開発費用 工 期：平成17年4月～平成20年12月 設備投資額：14億円	0億円	1億円

Ⅲ.中期経営計画の推進



Ⅲ-2. 中期経営計画策定後の主な取り組み(1/2)

	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
物流	<ul style="list-style-type: none"> ・営業組織再編(荷主別組織に再編) ・遠州トラック子会社化 	<ul style="list-style-type: none"> ・オムロン住倉ロジスティック設立 ・浦安倉庫稼働 ・羽生トランクルーム第三期倉庫稼働 ・南本牧倉庫稼働 ・掛川倉庫稼働(遠州トラックへ賃貸) 	<ul style="list-style-type: none"> ・南港東倉庫稼働
	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニオン・サービス・シンガポール及び住倉シンガポール子会社化(ラービグ・プロジェクトへの対応) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラービグ・ペトロケミカル・ロジスティクス設立 	<ul style="list-style-type: none"> ・住友倉儲(中国)上海新倉庫稼働
不動産	<ul style="list-style-type: none"> ・道頓堀再開発プロジェクト 南堀江マンション竣工 		<ul style="list-style-type: none"> ・道頓堀再開発プロジェクト キャナルテラス堀江竣工
			<ul style="list-style-type: none"> ・北浜オフィスビル建設計画
全社	<ul style="list-style-type: none"> ・アイスター子会社化(情報システムの強化) 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・自己株式取得(13億円:株主還元の充実) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己株式取得(18億円) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己株式取得(30億円+30億円予定)

Ⅲ-2. 中期経営計画策定後の主な取り組み(2/2)

単位:百万円

	平成18年3月期	平成20年3月期	増減額
営業組織再編と 既存荷主の深掘り営業	注力4荷主グループ向け 売上高(単体) 5,060	8,429	+3,369 (+67%)
港湾運送事業の拡大	コンテナ荷捌 売上高(単体) 10,008	11,361	+1,353 (+14%)
中国・東南アジアの 拡充	中国現法 売上高 5,284	6,188	+904 (+17%)
	東南アジア現法 売上高 5,093	8,366	+3,273 (+64%)

物 流

■中国・上海倉庫稼働 (平成20年5月)



■大阪・南港東倉庫稼働 (平成20年6月)



不 動 産

■大阪・道頓堀再開発プロジェクト

B地区商業施設「チャンネルテラス堀江」東棟
平成20年7月オープン



■北浜(大阪市中央区)オフィスビル建設計画

大阪市中央区北浜四丁目土地(現在、住友信託銀行(株)本店南館所在地)の借地権を取得し、賃貸用オフィスビルを建設予定。



完成予想図



建設地	大阪市中央区北浜四丁目
敷地面積	1,675㎡
延床面積	13,000㎡
規模	地上10階・地下1階建
着工時期	平成21年10月(予定)(新築工事)
竣工時期	平成23年 1月(予定)

倉庫業務

■ 羽生アーカイブセンターの建設

- 埼玉県羽生市に書類保管・取扱いの拠点を建設
- ・着工予定 平成21年
 - ・竣工予定 平成22年



国際輸送業務

■ ラービグ・プロジェクトへの取り組み

- ペトロ・ラービグ社が生産する石化製品の構内及び
サウジ国内物流取扱い(ラービグ・ペトロケミカル・
ロジスティクス)と、国際輸送業務獲得への取り組み
- ・稼働予定 2009年第1四半期



ジェッタ港 (Saudi Ports Authority提供)

不動産事業

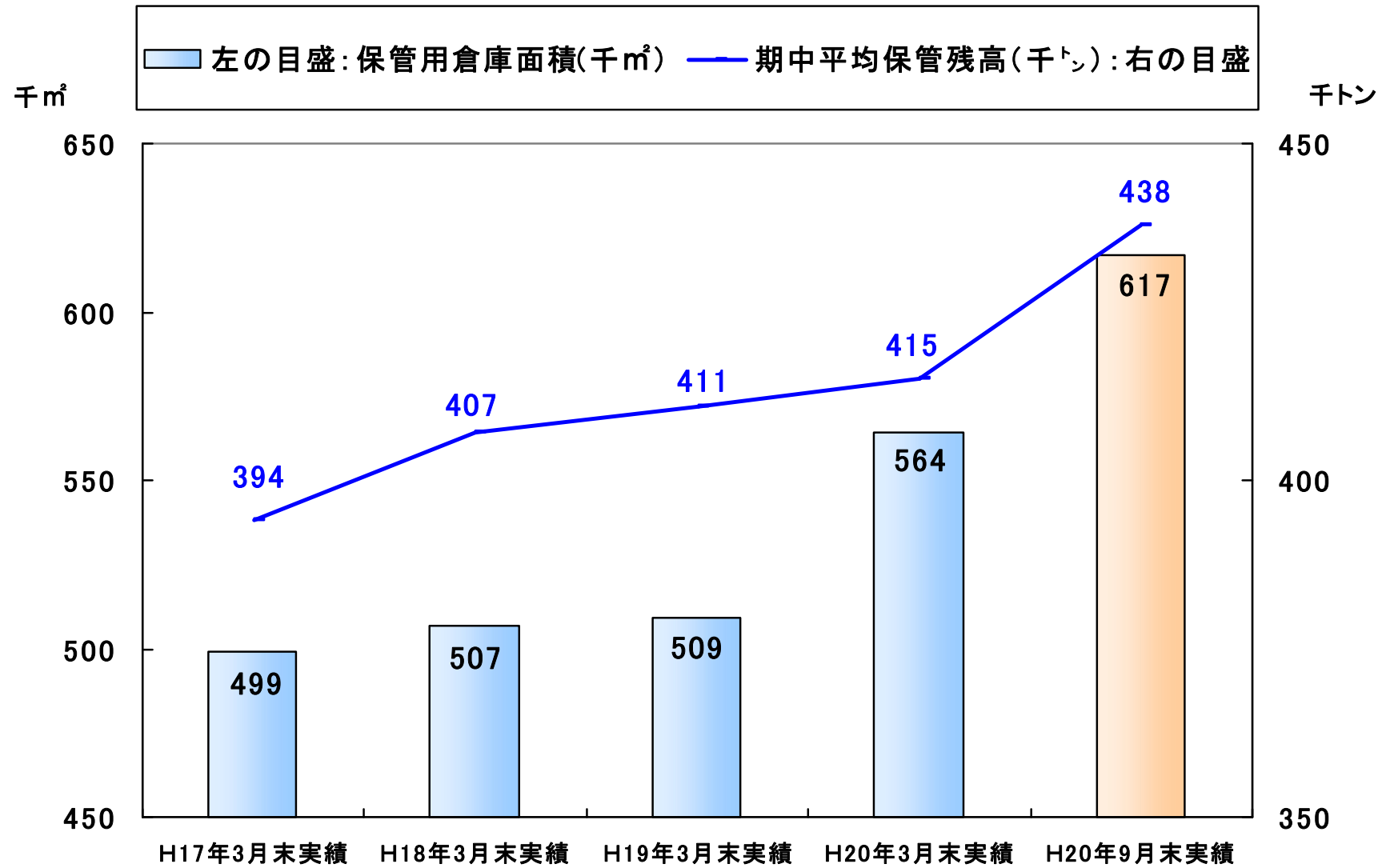
■ 道頓堀再開発プロジェクト

- A地区(約5,800㎡、容積率910%)に、商業施設・
ホテル・賃貸住宅の複合施設を建設予定
- ・着工予定 平成21年
 - ・竣工予定 平成24年

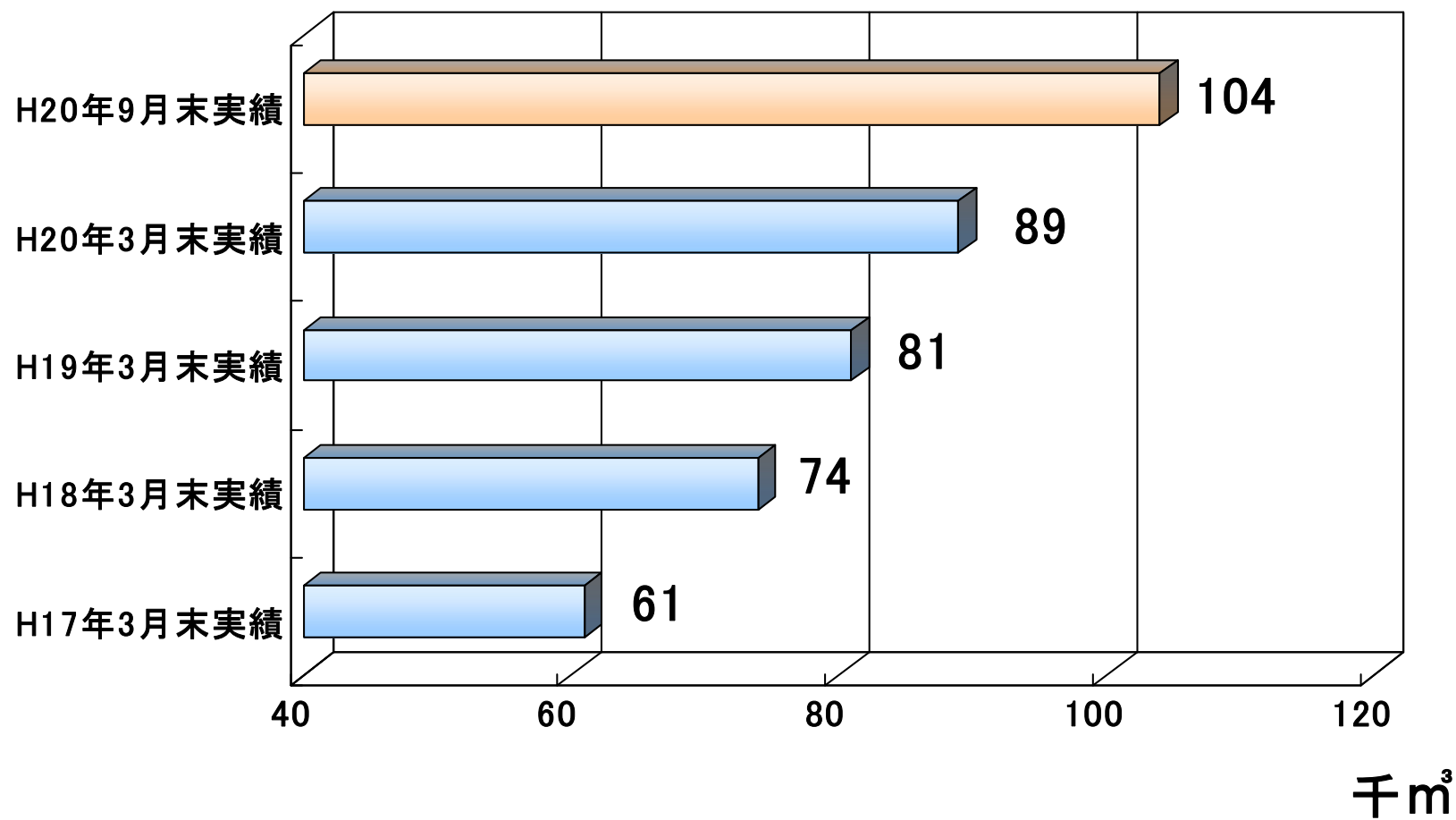


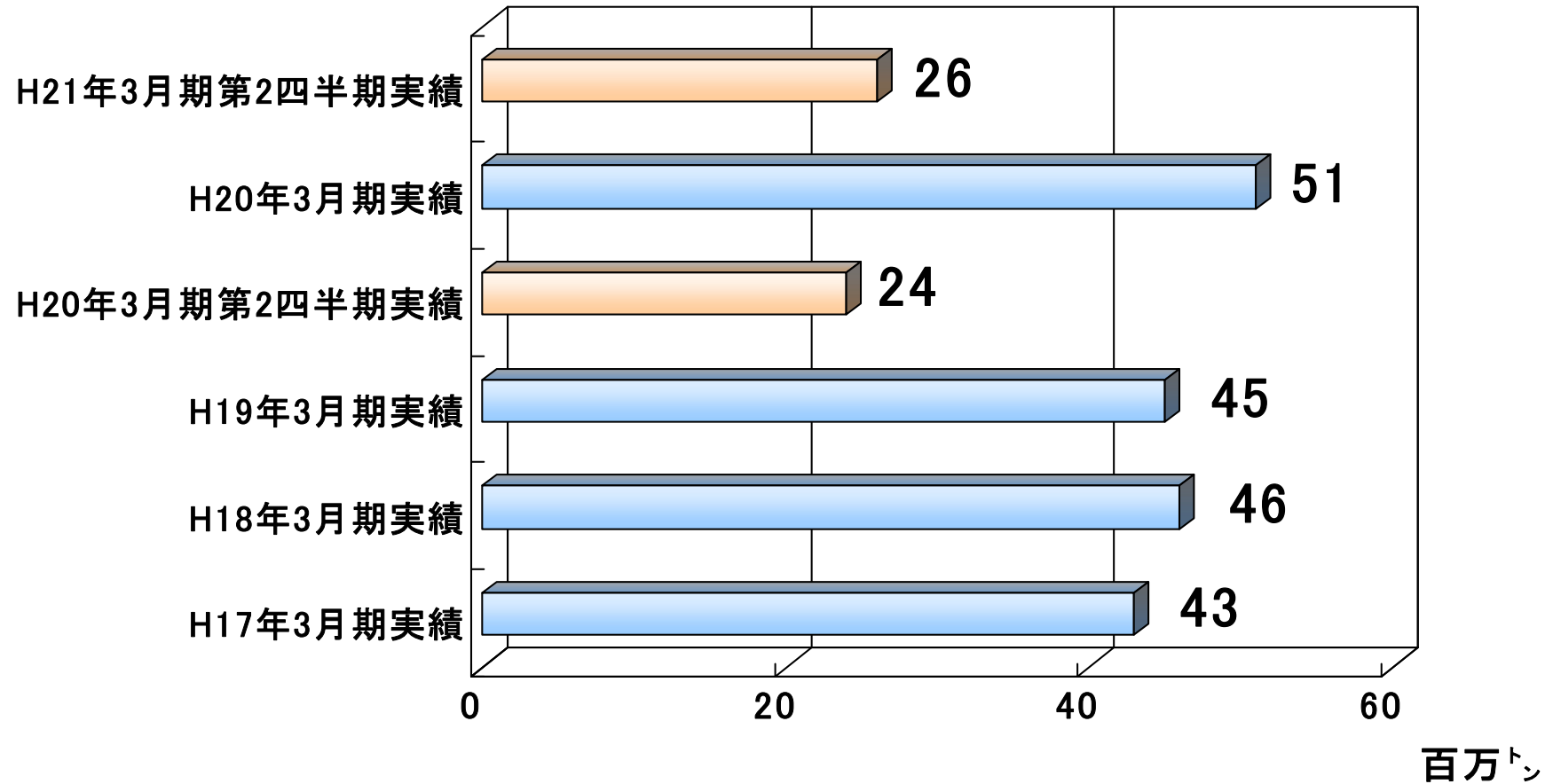
補 足 資 料

①保管用倉庫面積・保管残高

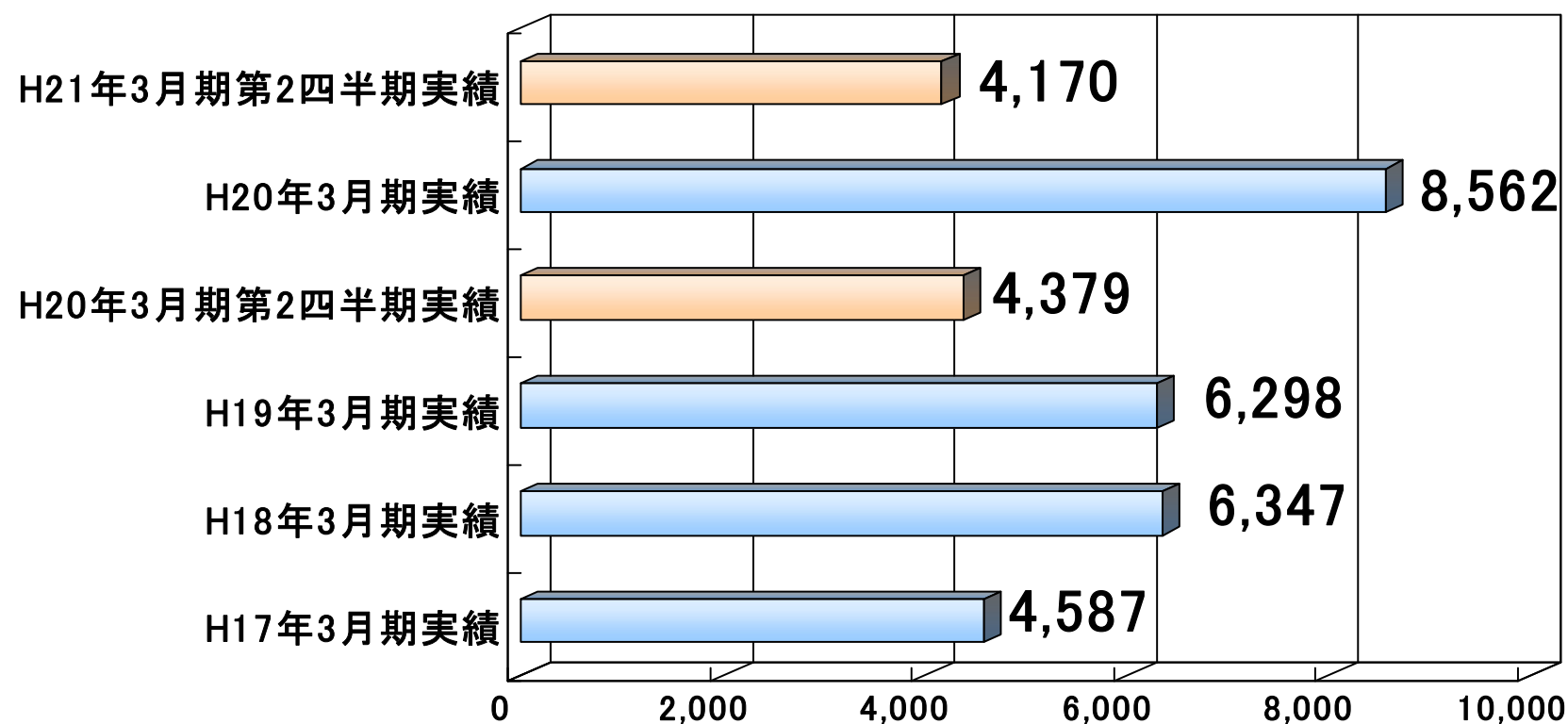


②トランクルーム期末保管残高



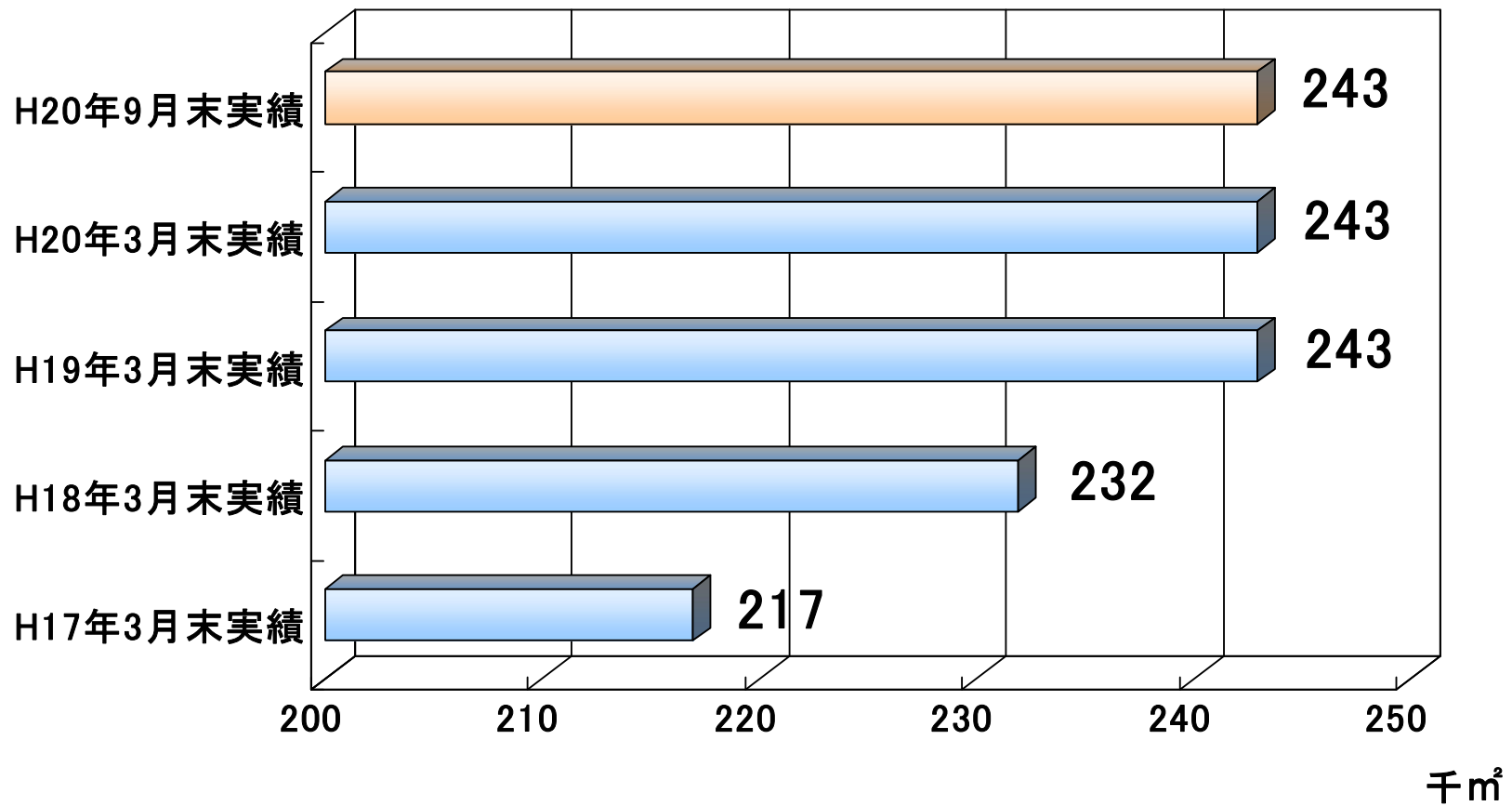


④国際輸送取扱量



千トン

⑤賃貸ビル面積



本日はありがとうございました



IRに関する連絡先

株式会社 住友倉庫 事業推進部広報IR課(担当:広田)

〒550-0021 大阪市西区川口2-1-5

TEL 06-6581-1104 FAX 06-6581-3870

E-Mail : ir_mbx@sumitomo-soko.co.jp